



MARTA DE PASCALIS

ER:
#47

LIVE:
Marta De Pascalis ^{DE}
Reishuzan Fukushima + Satoshi Fukushima ^{JP}

DJ:
Jacob D. Fabregas ^{JP}

PLACE:
View Fukushimagata

DATE:
Mar 8, 2025

「みずとつちの芸術祭－福島潟－2025・冬」
関連イベントとして、ビュー福島潟にて
「experimental room #47」の開催が決定!!

Date

2025年3月8日(土)
開場13:30 開演14:00 (終演15:30予定)

Place

水の駅 ビュー福島潟 6階 展望ホール
新潟市北区前新田乙493 TEL 025-387-1491
○お車で越しの方は駐車場(無料)をご利用頂けます。

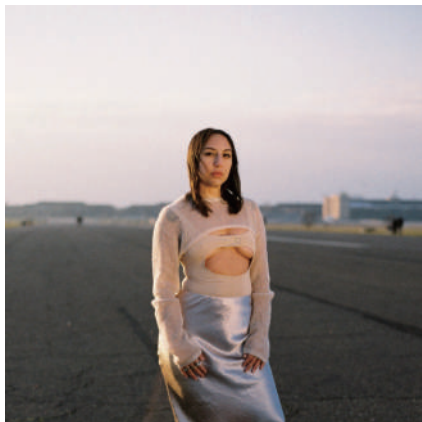
Ticket

予約3000円/当日3500円/県外2500円/U18無料!



○ご予約は左記のQRコード「チケットご予約フォーム」
にて受付中。必要事項をご入力頂きご送信下さい。

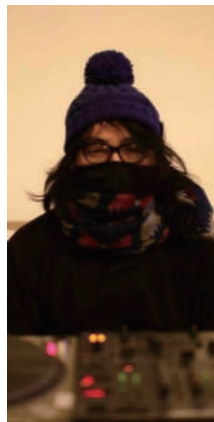
イタリア出身ベルリン拠点の女性サウンド・デザイナー／作曲家のMarta De Pascalis(マルタ・デ・パスカリス)の初来日・新潟公演。現行の電子音楽界重要人物のひとりであるCaterina Barbieri主宰レーベル<Light-years>から出版された最新作『Sky Flesh』では、シンセサイザー「ヤマハCS-60」のみで構成され、実験的でありつつも分厚いシンセワークで温かみのあるコスミッシュ・ミュージックを展開し、世界から更なる注目を集める存在に。共演には新潟代表として尺八とラップトッパによる親子デュオ＝福島麗秋山＋福島諭が登場。今回は特別に会場周辺を往来する様々な野鳥類や自然環境音を用いて構想されたサイトスペシフィックな最新作を披露予定。会場音楽にはred race riot!を主催するJacob改めJacob D. FabregasがDJで彩を添えます。今回の会場は初代名誉館長に作曲家・三枝成彰を迎え、全面ガラス張りの360度パノラマ構造を誇る「ビュー福島潟」の展望ロビーにて開催。美しい福島潟や越後平野を背景に、今このときこの瞬間でしかない得ない電子音楽の数々を是非お楽しみ下さい。



マルタ・デ・パスカリス | ベルリンを拠点に活動するイタリア人女性サウンド・デザイナー／作曲家。アナログ合成とテープループを用い、安定した反復パターンに自由な演奏を取り入れている。最新作はCaterina Barbieriが主宰する先鋭レーベルLight-yearsより出版された『Sky Flesh』(23年)。輝きを放つメロディーの断片とベースラインとが濃密に重なり合ったコーラージュを生成し、催眠的なミニマルシンセの音像を描き、ダイナミックでカタルシスな作品を生み出している。



福島麗秋山 | 1948年生まれ。群馬県出身。尺八奏者。2007年より息子である作曲家の諭とPCと尺八の共演をスタートさせ、限りなく広がる音響の未知の世界を追い求めている。都山流師範。
福島諭 | 1977年生まれ。新潟県出身。作曲家。2002年よりリアルタイムなコンピュータ処理と演奏者との対話的な関係によって成立する作曲作品を発表。即興演奏とコンピュータによる独自のセッションを試みるバンド Mimizのメンバー。



ヤコブ・ディー・ファブレガス | アート・エキシビションやクラブ・イベントなどを行う新潟アンダーグラウンドを牽引するred race riot!を主催。様々なイベントでもDJとして精力的な活動を行う。盟友leとのDJユニット、Ixalodsの名義も持つ。

Collaborated with

みずとつちの芸術祭

Instagram
@hiraganamizutsuchi



Curated by

Experimental Rooms

www.experimentalrooms.com
info@experimentalrooms.com

